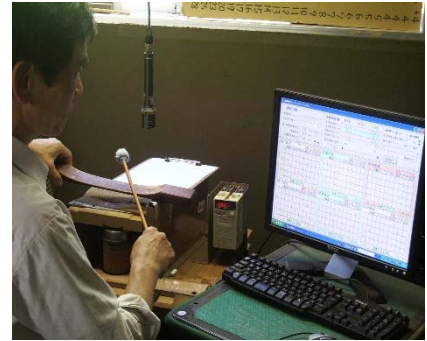


パソコンによる「マリンバの音階解析システム」

(株)こおろぎ社 (越前町)

平成 18~20 年度 優れた技術づくり共同研究事業
技術指導、技術相談

問合せ先 箕瑞恵、佐賀圭真



背景と経緯

(株)こおろぎ社は、マリンバ等の音板打楽器の国外販売力を強化するため、製品の品質向上を目指しました。

高品質のマリンバ製造では、何十枚もある音板の1枚1枚について研削・検音の作業を繰り返しながら、基本音、4倍音、10倍音など様々な振動周波数を精密に調整しなければならず、そのため製造時間が長くなり、品質の維持と市場の量的要求への対応を両立することが困難となっていました。そこで、その問題を解決したいと福井県工業技術センターに技術相談しました。

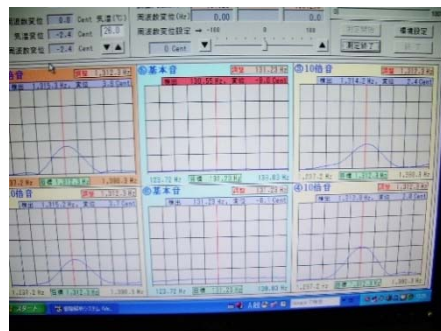
福井県工業技術センターの技術指導により、パソコンを用いて迅速かつ正確に音板の打撃音が検査・調整できるシステムを実現する可能性を見出し、さらに共同研究制度を活用してマリンバの音階解析システムの開発に取り組みました。

成果と製品化の状況

福井県工業技術センターの支援を受けて開発した「マリンバの音階解析システム」は高い周波数分解性能を持ち、音板の研削すべき部分が一目で分かることから、(株)こおろぎ社の製造現場では素早く正確な検音・研削調整ができるようになり、すでに最終調整作業や周波数の確認に実用利用をしています。



開発システムによる
検音作業



測定・解析画面



マリンバ製品